

おきなわしんこうとくていじぎょう
沖縄振興特定事業計画

おきなわ
沖縄県

平成17年9月

沖縄振興特定事業計画の目標

| | | | | | | | |
|------|--------|------|-------|-----|-----------|--|--|
| 事業年度 | 平成17年度 | 市町村名 | 沖縄市ほか | 地区名 | 沖縄県、沖縄市ほか | | |
|------|--------|------|-------|-----|-----------|--|--|

目標
 ・安らぎと潤いのある生活空間の創造
 県民が安心して暮らせる安全な地域社会を形成するため、防災・消防活動等の推進や保健衛生体制を充実させる。
 また、潤いのある学習社会を形成するため、児童・生徒の専門的な知識や技術の活用能力の向上及び児童・生徒の障害の程度・特性等に応じた特殊教育を推進することで多様な人材の育成を図る。

目標設定の根拠

沖縄振興特定事業の現況

- ・火災初期時の水利の確保を主な役割とする小型動力ポンプ付水槽車は消防力の低下が生じないように計画的に整備しているが、整備年度から23年も経過（沖縄市所有のポンプ付水槽車）していたり、また沖縄特有の塩害により腐食も進んでいる。
- ・更新予定の救急自動車は、救急救命士による高度救命措置が施せない旧型の車両であるため、高度救命措置ができる高規格救急自動車を整備し救命率の向上を図る必要がある。
- ・本県における保健所は、地域保健法に規定される業務を実施するほか、予防投薬及び沖縄復帰対策要綱に基づき結核患者の治療を実施し、結核対策の中心的役割を担っている。保健所内設置のX線自動現像乾燥機・血液自動分析装置・保健所用自動車等は、事業の円滑・適正運営のために用いられており、年次計画を立てて整備しているものの老朽化が著しい。（年次計画：H18年度中央保健所、H19八重山保健所、H20南部保健所、H21北部保健所、H22中部保健所）
- ・盲・聾・養護学校、及び特殊学級の児童・生徒の社会参加、自立を目指した教育実施のため、老朽化した設備の更新や新規設備整備が必要であるが、自立訓練に必要な特殊教育設備が不足している状況であり、教育課程の目標が達成できない。
- ・産業教育の実験実習に必要な設備整備が行われてきた。高等学校が生徒に対して農業、工業、商業、水産業、その他の産業に従事させるために必要な基礎知識、技能等を、効果的に習得させる環境整備が整えられてきている。現在、産業界の情報化、技術革新はめざましく、今後も産業界の変化に対応した人材育成のため、新規設備整備や既存設備の更新が必要である。

課題

- ・老朽化した消防車両、高規格救急車両等の更新及び新規整備。
- ・老朽化の著しい、または業務円滑化のため必要な保健衛生設備の計画的な整備を図ること。
- ・老朽化した特殊教育設備・産業教育設備の更新や技術革新等に対応したこれら設備を新規に整備することにより多様な人材育成を図ること。

将来ビジョン（中長期）

1. 安心・安全な地域社会の形成（消防・救急車両等を計画的に整備し、地域社会の消防・防災体制の強化を図る）
2. 健康福祉社会の実現（県民が安心して暮らせる保健衛生体制の充実した地域社会を形成するため、結核医療機器等を計画的に整備し結核患者罹患率の低下を図る。）
3. 多様な人材の育成（産業教育設備、特殊教育設備を整備し、児童・生徒の専門的な知識や技術の活用能力の向上に努め、児童・生徒の障害の状態及び特性に応じた教育を推進することで多様な人材を育成し、就職内定率、進路決定率を高める。）

目標を定量化する指標

| 指 標 | 単 位 | 定 義 | 目標と指標及び目標値の関連性 | 従前値 | 目標値 | 基準年度 | 目標年度 |
|----------|-----|---|--|------|-------|------|------|
| | | | | | | | |
| 消防車両等整備率 | % | 県内市町村に必要な消防車両等の数に占める既整備車両の割合 | 安心して暮らせる安全な地域社会を形成するため、消防・救急車両等を整備し、消防・防災体制の強化を図る。 | 86.0 | 100.0 | H16 | H23 |
| 結核患者罹患率 | 人 | 当該年10月1日現在人口10万人当たり結核罹患数 | 県民が安心して暮らせる健康福祉社会を実現するため、保健所に結核医療機器等を整備し、結核の治療・予防等事業及びその他保健所業務が円滑に実施されることで、結核その他疾病予防を図る。 | 24.4 | 15.5 | H16 | H23 |
| 進路決定率 | % | 盲・聾・養護学校高等部卒業者の進路決定率 中学校卒業生(特殊学級在籍生徒)の進路決定率。 | 産業教育設備、特殊教育設備を整備し、児童・生徒の専門的な知識や技術の活用能力の向上に努め、児童・生徒の障害の状態及び特性に応じた教育を推進することで多様な人材を育成し、就職内定率、進路決定率を高める。 | 75.0 | 85.0 | H15 | H23 |
| 就職内定率 | % | 高等学校卒業予定かつ就職希望者の就職内定率 | | 70.8 | 90.0 | H15 | H23 |

沖縄振興特定事業計画の整備方針等

| 各事業の整備方針 | 方針に合致する主要な事業 |
|---|--------------------------------------|
| <p>【消防防災設備整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内各市町村の消防・救急車両等を緊急性の高いものから計画的に更新・新規整備する。 | <p>消防防災設備補助事業 救急車両整備事業</p> |
| <p>【保健衛生施設等設備整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各保健所における医療設備、自動車等を老朽化・必要性の高いものから計画的に整備する。 | <p>保健所機器整備事業 私立学校等定期健康診断促進事業</p> |
| <p>【学校教育設備整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盲・聾・養護学校の児童・生徒の社会参加及び自立を目指した教育を実施するために、障害の種類・程度に応じた教育支援を行い、また児童・生徒の健康維持を図り、障害に基づく様々な困難を主体的に改善・克服するために必要な教材・教具等特殊設備の充実を図る。 ・多額の経費を要するスクールバス車両の更新を年次計画で更新する。 ・農業、工業、商業、水産業、その他産業に従事させるために必要な基礎知識、技能等を効果的に修得させるため教育環境の整備を図る。 ・産業界の新しいニーズに対応した設備及び技術革新等により新たな機能を要求される設備の新規整備を進める。 | <p>特殊教育設備整備事業 産業教育設備整備事業</p> |
| <p>その他</p> | |

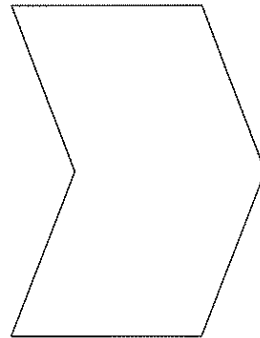
沖縄振興特定事業 整備方針概要図

| | | | | | | | | | |
|----|------------------|--------|----------|-----|------|---------|---|-------|---------|
| 目標 | 安らぎと潤いのある生活空間の創造 | 代表的な指標 | 消防車両等整備率 | (%) | 86.0 | (H16年度) | → | 100.0 | (H23年度) |
| | | | 結核患者罹患率 | (人) | 24.4 | (H16年度) | → | 15.5 | (H23年度) |
| | | | 進路決定率 | (%) | 75.0 | (H15年度) | → | 85.0 | (H23年度) |
| | | | 就職内定率 | (%) | 70.8 | (H15年度) | → | 90.0 | (H23年度) |

安心できる安全な地域社会を形成するため、防災・消防活動等の推進、充実を図る。

県民が安心して暮らせるよう、感染症の発生予防・まん延防止体制の確保など保健衛生の推進を図り、医療提供体制等の環境整備を促進する。

産業教育による専門的な知識や技術の活用能力の向上に努め、また、特殊教育による児童・生徒の障害の状態及び特性等に応じた教育を推進するため、教育の基盤となる施設・設備の充実を図る。



安らぎと潤いのある生活空間の創造

安心・安全な地域社会の形成

健康福祉社会の実現

多様な人材の育成